

文書番号: ESC-APN-013-02

AP511 をお使いのお客様へ

AP511 を使う場合のコンフィギュレーション初期化について

はじめに

AP511 をお使いのお客様に ICE の機能を有効にご使用いただけるよう、注意点を記載したドキュメントです。

本書の対象となるユーザー

- AP511 と SMT(システムマクロトレース)プローブをお持ちで、かつ、OCD(On Chip Debug)トレースプローブを持たない、すべてのお客様。

本書の対象となる環境

- 搭載した ARM コアが ETM(Embedded Trace Macrocell)を持ち、ICE で書き込み可能なフラッシュメモリを搭載したユーザーシステム(ターゲットボード)。

注意事項

- 本ガイドで使用している画面は、Windows XP の環境で作成しています。ほかの環境をお使いの場合、表示や操作手順が異なることがあります。
- 本ガイドの操作手順は、SLX600 を使用して解説しています。お使いの機種によっては、操作手順内での名称や参照しているマニュアル名が異なる場合があります。
- advice シリーズの製品を安全にお使いいただくために重要な情報は、『adviceLUNA ユーザーズマニュアル（固有編）』（HLX600_podm_jpn.pdf）に記載されています。
- 本ガイドに記載されている会社名・製品名は、各社の登録商標または商標です。

アイコンについて

本ガイドで使用しているアイコンには、以下の意味があります。



特に重要な情報を記載しています。操作する際は十分に注意してください。



操作を進める上で役に立つ情報やアドバイスなどの補足事項を記載しています。



本ガイドのほかのページやほかのマニュアルなどの参照情報を記載しています。

目次

AP511 をお使いのお客様へ	1
AP511 を使う場合のコンフィギュレーション初期化について	1
はじめに	1
本書の対象となるユーザー	1
本書の対象となる環境	1
注意事項	2
アイコンについて	2
1. 概要	4
1.1. 「AP511」とは	4
1.2. 必要な環境	4
1.3. 発生する現象	4
2. 詳細	5
2.1. 確認方法	5
● コンフィギュレーション初期化前	6
● コンフィギュレーション初期化後	7
2.2. 手順	8
2.2.1. 初期化の手順	8
3. 制限・注意事項	9
4. 参考資料	9
改訂履歴	10

1. 概要

1.1. 「AP511」とは

AP511 はトレースメモリを本体に搭載した ICE で、JTAG 接続でデバッグする機能の他に、ICE に接続していますプローブの種類により、SMT(システムマクロトレース)、または、OCD(OnChipDebug)トレースを取得することができます。

搭載するメモリのサイズにより、AP511/2G と AP511/4G があります。

1.2. 必要な環境

ソフトウェアパッケージ(インストールキット)をインストール済みの PC。

具体的には、APClient ツールと ICE システム(ICE 本体で動作するファームウェア)で、ソフトウェアパッケージをインストールしますと、「Update Tools」として同時に PC にインストールされます。

1.3. 発生する現象

AP511 のコンフィギュレーションの違いにより、ICE が JTAG 接続したユーザーシステムに搭載されたフラッシュメモリへの書き込みの際に「ICE Error No.e00:通信タイムアウトが発生しました」エラーが発生する場合があります。

2. 詳細

2.1. 確認方法

AP511 に JTAG プローブのみ接続した状態で、PC と ICE とを USB 接続します。

microVIEW-PLUS デバッガで新規にプロジェクトを立ち上げた際に、表示される画面を確認します。

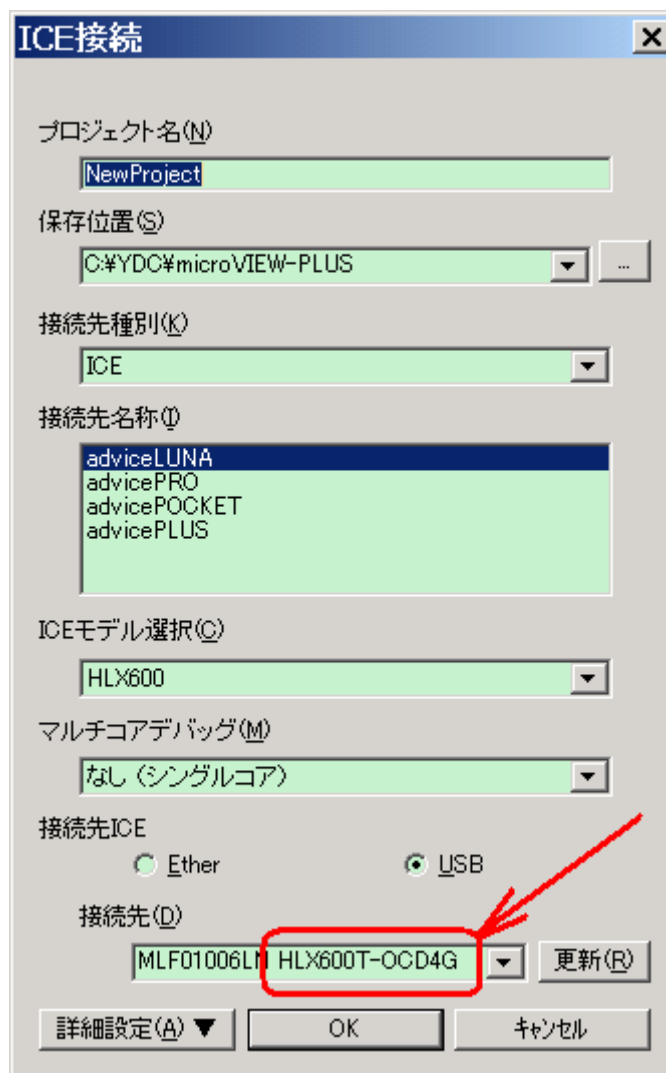
次ページ以降の画面イメージの表示にあります通り「xxx-OCD2G」または「xxx-OCD4G」の場合は、次項の手順でコンフィギュレーションを初期化してください。

初期化しますと画面の表示が「xxx-SD2G」または「xxx-SD4G」に変わります。

画面の表示が既に「xxx-SD2G」または「xxx-SD4G」の場合は、初期化の操作は不要です。

（「2G」「4G」は、それぞれ「AP511/2G」「AP511/4G」に対応して表示されます）

- コンフィギュレーション初期化前



ICE接続

プロジェクト名(N)
NewProject

保存位置(S)
C:\YDC\microVIEW-PLUS

接続先種別(K)
ICE

接続先名称(Q)
adviceLUNA
advicePRO
advicePOCKET
advicePLUS

ICEモデル選択(C)
HLX600

マルチコアデバッグ(M)
なし (シングルコア)

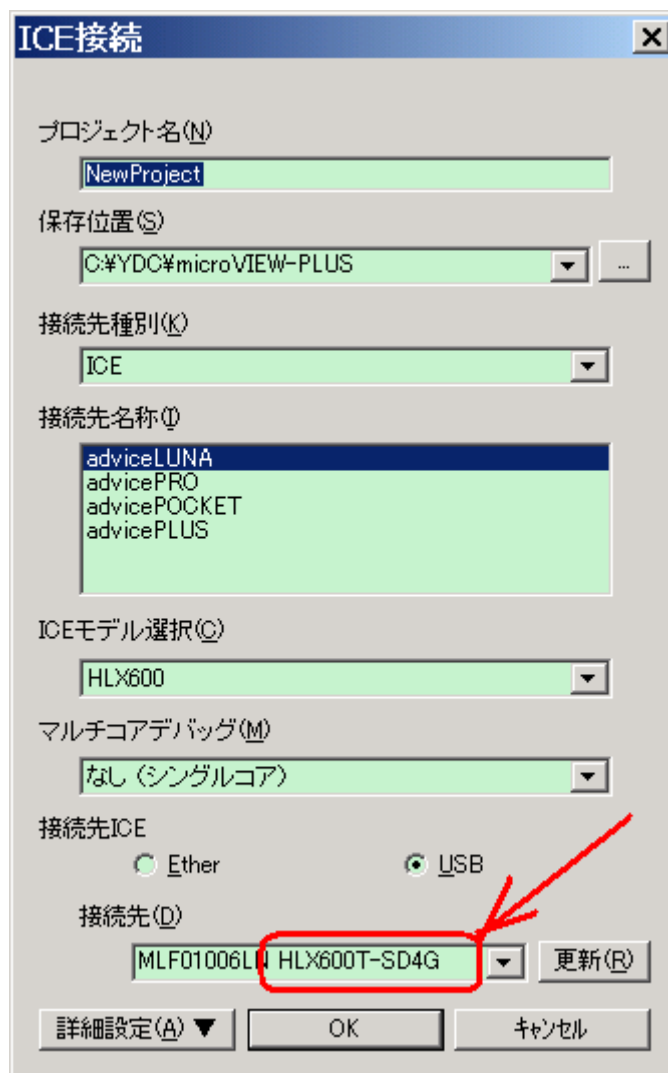
接続先ICE
☐ Ether ☒ USB

接続先(D)
MLF01006L HLX600T-OCD4G

更新(R)

詳細設定(A) ▼ OK キャンセル

- コンフィギュレーション初期化後



The dialog box titled "ICE接続" (ICE Connection) contains the following fields and controls:

- プロジェクト名(N): NewProject
- 保存位置(S): C:\YDC\microVIEW-PLUS
- 接続先種別(K): ICE
- 接続先名称(Q): adviceLUNA, advicePRO, advicePOCKET, advicePLUS
- ICEモデル選択(C): HLX600
- マルチコアデバッグ(M): なし (シングルコア)
- 接続先ICE: ☐ Ether, ☒ USB
- 接続先(D): MLF01006L, HLX600T-SD4G (highlighted with a red box and a red arrow pointing to it)
- Buttons: 詳細設定(A) ▼, OK, キャンセル

2.2. 手順

AP511 のコンフィギュレーションを初期化します。

コンフィギュレーションは、プローブを接続した状態で ICE システムを入れ替える操作を行うことで初期化されます。

初期化の操作は一度のみ実施するだけで、以降は不要です。

2.2.1. 初期化の手順

以下の通りです。

- 1) AP511 にシステムマクロトレースプローブ(AQ721 など)を接続します。
- 2) ICE の電源を入れて PC と接続します。(USB 接続の方が比較的簡易と考えます)
- 3) APClient ツールを立ち上げて ICE と接続します。
- 4) ICE システムの入れ替え操作を行います。
- 5) APClient ツールを終了します。

入れ替え操作については『APClient ユーザーズマニュアル』 (APClient_jpn.pdf) を参照してください。

入れ替え操作はおよそ 5 分程度です。

3. 制限・注意事項

AP511 にシステムマクロトレースプローブを取り付ける場合、または取り外す場合には、ICE 本体の電源を OFF にしてから行ってください。

組み立て方法に関しましては『adviceLUNA ユーザーズマニュアル共通編 AP510/AP511/AP512/AP514』(adviceLUNA_podm_jpn)を参照してください。

4. 参考資料

- 「adviceLUNA ユーザーズマニュアル共通編 AP510/AP511/AP512/AP514」
(adviceLUNA_podm_jpn.pdf)
- 「APClient ユーザーズマニュアル」 (APClient_jpn.pdf)

改訂履歴

版	発行日付	変更内容
第 1 版	2013.12.06	新規発行
第 2 版	2017.04.01	新商号対応